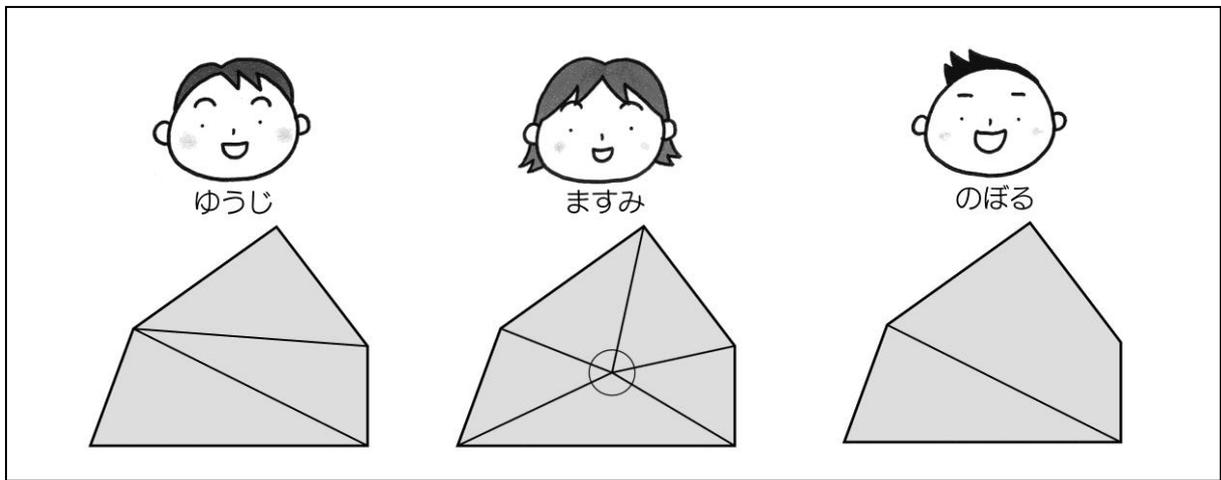


活用シート7	問題用紙	年 組 番	名前
--------	------	-------	----

答えは、解答用紙の解答らんにかいとうに書きましょう。

(一) ゆうじさん、ますみさん、のぼるさんは、五角形の5つの角の大きさの和の求め方を、次の図のように表しました。3人の説明としてふさわしいものを、下のア～ウの中から1つずつえらんで、その記号を書きましょう。



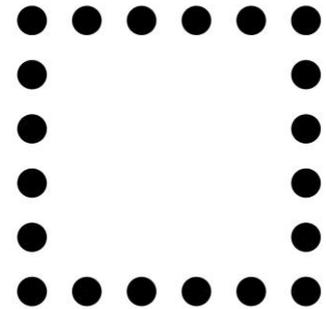
ア 五角形の1つの頂点から対角線を1本ひき、三角形と四角形に分けて、それぞれの角の大きさをたします。

イ 五角形の1つの頂点から対角線を2本ひき、3つの三角形に分けて、それぞれの角の大きさをたします。

ウ 五角形の中の点から頂点に直線をひき、5つの三角形に分けて、それぞれの角の大きさをたし、 360° をひきます。

(二) 1 辺の黒石の個数を同じにして、正方形の形にならべたとき、黒石の全部の個数を、どのように求めるかを考えます。

右の図のように、黒石を 1 辺に 6 個ならべたときの黒石の全部の個数について、れいこさんとてつやさんは、次のように求めました。



〈れいこさんの求め方〉

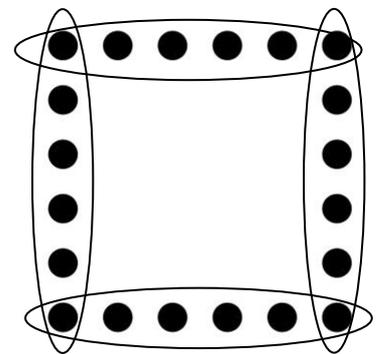
1 辺の黒石の個数は 6 個です。4 つの辺があるので、

$$6 \times 4 = 24 \quad 24 \text{ 個です。}$$

角の黒石は 2 回ずつ数えているので、4 個をひいて

$$24 - 4 = 20 \quad 20 \text{ 個です。}$$

答え 20 個



〈てつやさんの求め方〉

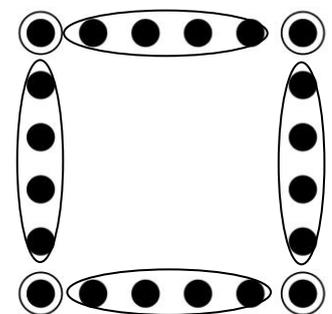
1 辺の黒石の個数は 6 個です。4 つの角の黒石を除いて考えると 4 個の黒石のかたまりがあるので、

$$4 \times 4 = 16 \quad 16 \text{ 個です。}$$

角の黒石の 4 個をたすと

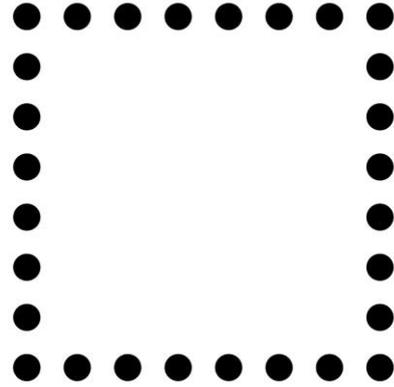
$$16 + 4 = 20 \quad 20 \text{ 個です。}$$

答え 20 個

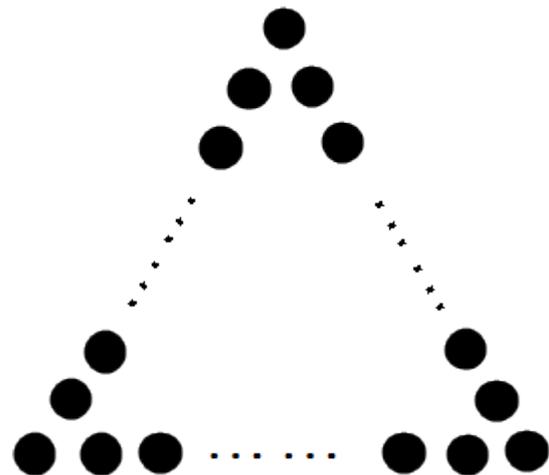


- 1 右の図の黒石はいくつありますか。
れいこさんの求め方か**てつやさんの
 求め方**のどちらかを使って、求め方
 と答えを書きましょう。

また、解答用紙の にどちら
 の考えを使ったか書きましょう。



- 2 次の図のように、黒石を正三角形の形にならべます。
 1 辺に 1 0 0 個ならべたときの黒石の個数を書きましょう。



(三) $8.4 \div 1.2$ の計算のしかたについて、しろうさんとみきさんは次のように考えました。

〈しろうさんの考え〉



しろう

わり算は、わられる数とわる数の両方に同じ数をかけても答えは変わらないので、それぞれを10倍した $84 \div 12$ を計算して、答えを7と求めました。

〈みきさんの考え〉



みき

0.1のいくつ分で考えます。わられる数の8.4は0.1の84個分、わる数の1.2は0.1の12個分です。そこで、 $84 \div 12$ を計算して、答えを7と求めました。

$1.82 \div 0.14$ の計算のしかたを、2人のどちらかの考えを参考にして説明します。解答らんの「しろうさん」か「みきさん」のどちらかに○を付けて、説明を書きましょう。

月 日

活用シート7	かいとう 解答用紙	年 組 番	名前
--------	--------------	-------	----

(一)

ゆうじ		ますみ		のぼる	
-----	--	-----	--	-----	--

(二)

1	<input type="text"/>	さん の ^{もと} 求め方を使う。
	求め方	
2		答え 個
		個

(三)

	しろうさん	みきさん
せつめい 説明		

いつもがんばっている君の姿がすてきだよ。



(一) ゆうじ イ ますみ ウ のぼる ア

(二) 1 れいこさんの考えを使う。

求め方

1 辺の黒石の個数は 8 個です。4 つの辺があるので、

$$8 \times 4 = 32 \quad 32 \text{ 個です。}$$

角の黒石は 2 回ずつ数えているので、4 個をひいて

$$32 - 4 = 28 \quad 28 \text{ 個です。}$$

答え 28 個

てつやさんの考えを使う。

求め方

1 辺の黒石の個数は 8 個です。4 つの角の黒石を除いて考えると 6 個の黒石のかたまりが 4 つあるので、 $6 \times 4 = 24$ 24 個です。

角の黒石の 4 個をたすと、 $24 + 4 = 28$ 28 個です。答え 28 個

2 297 個

(三) しろうさん

説明

わり算は、わられる数とわる数の両方に同じ数をかけても答えは変わらないので、それぞれを 100 倍した $182 \div 14$ を計算して、答えを 13 と求めました。

みきさん

説明

0.01 のいくつ分で考えます。わられる数の 1.82 は 0.01 の 182 個分、わる数の 0.14 は 0.01 の 14 個分です。そこで、 $182 \div 14$ を計算して、答えを 13 と求めました。